

週報

感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成29年												平成30年														
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月 ~2日	9月 ~9日	9月 ~16日	9月 ~23日	9月 ~30日	10月 ~7日	
カンピロバクター	61	68	80	122	83	118	142	87	98	161	109	84	37	39	48	105	75	71	122	98	27	31	35	35	32	18	
病原性大腸菌	107	105	89	113	64	135	206	161	102	112	73	110	66	51	44	98	78	83	111	80	21	19	5	6	20 (22)	12	
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	0	1	1	1	0	2	1	0	0	1	1	0	0	1	1	1	0	1	0	0	0	0	
サルモネラ	0	1	7	11	10	13	18	29	9	12	16	3	3	1	1	5	3	20	12	22	3	4	2	2	1 (2)	3	
黄色ブドウ球菌 MSSA	6	11	12	15	9	21	32	17	24	24	9	12	14	11	7	24	10	10	16	26	1	4	7	0	8	2	
黄色ブドウ球菌 MRSA	16	19	13	17	15	23	27	16	22	19	15	16	12	11	13	12	12	17	14	11	4	6	2	4	2	1	
腸炎ヒブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	
その他	0	2	1	3	0	5	9	11	5	14	3	1	0	7	5	3	1	2	4	2	1	0	0	0	1	0	
ロタウイルス	1	0	1	6	6	3	1	1	0	0	0	0	2	11	18	50	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	0	0	1	0	0	2	0	1	1	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ノロウイルス	7	4	8	6	11	13	8	2	1	3	7	21	13	13	17	4	4	2	3	0	0	0	0	0	0	0	

* () は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

広島県感染症発生動向週報

平成30年第40週(10月1日~10月7日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	6	結核	6	1	1	3		1		
三類	2	腸管出血性大腸菌感染症	2							2
四類	9	重症熱性血小板減少症候群	1						1	
		日本紅斑熱	4			2		1	1	
		レジオネラ症	3			1		2		
		レプトスピラ症	1					1		
五類全数	17	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	3					1	2	
		急性弛緩性麻痺	1					1		
		梅毒	7		1			4		2
		百日咳	5	1	1			3		
		薬剤耐性アシネトバクター感染症	1						1	

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

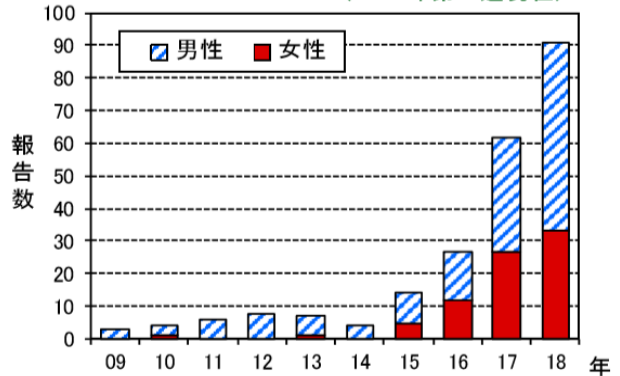
定点・全数把握疾患週報【広島市】(第40週 10/1~10/7)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

1. 梅毒

4件の報告がありました。今年の累計は91件(男性58件、女性33件)となり、報告数が増加しています。梅毒は、性行為で感染し、感染後、感染部位にしこりができたり、リンパ節が腫れたり、全身に「バラ疹」と呼ばれる赤い発疹が出るなど、様々な症状が現れ、症状が軽快しても、治療をしない限り完治はしません。

梅毒の年間報告数の推移
(2018年第40週現在)



2. インフルエンザ

定点医療機関から15人(定点当たり0.41人、迅速診断キット:A型陽性14人、B型陽性1人)の報告がありました。流行前の予防接種、手洗いの励行や咳エチケットなど感染予防対策を心がけましょう。

3. レジオネラ症

2件の報告があり、今年の累計は32件となりました。

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)過去5年間	発生記号
フィリ	インフルエンザ	15	0.41	0.11	↑	小児科	流行性耳下腺炎	8	0.33	0.75	
小児科	咽頭結膜熱	6	0.25	0.35		眼科	RSウイルス感染症	16	0.67	1.33	↘
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	47	1.96	1.69	↔		急性出血性結膜炎	-	-	0.05	
	感染性胃腸炎	91	3.79	3.73	↔	基幹	流行性角結膜炎	6	0.75	1.03	↓
	水痘	7	0.29	0.56			細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	47	1.96	1.55	↔		無菌性髄膜炎	-	-	0.11	
	伝染性紅斑	3	0.13	0.14			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.11	
	突発性発しん	4	0.17	0.47			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	2	0.08	0.46			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	↔		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	100	女性(30歳代)
4	レジオネラ症	2	32	男性(60歳代)、男性(80歳代)
4	レプトスピラ症	1	1	男性(80歳代)・市外
5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	8	男性(60歳代)
5	急性弛緩性麻痺	1	1	男性(10歳未満)
5	梅毒	4	91	女性(10歳代)・1人、男性(20歳代)・2人、男性(60歳代)・1人
5	百日咳	3	47	女性(60歳代)、女性(70歳代)、男性(80歳代)

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
百日咳	発熱(38.0) 気管支炎	3	男	2018/08/16	鼻汁	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(37.7) 上気道炎 気管支炎	0	女	2018/08/23	咽頭拭い液 鼻汁	ライノウイルス
その他の疾患	発熱(39.0)	0	男	2018/07/27	糞便	ハレコウイルス4型
その他の疾患	発熱(39.0) 咽頭炎	0	女	2018/08/09	咽頭拭い液	ライノウイルス
その他の疾患	発熱(38.4) ショック症状	0	女	2018/08/25	咽頭拭い液	RSウイルス
その他の疾患	発熱	0	男	2018/09/01	咽頭拭い液	ライノウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載